

# 医療搬送カルテ(災害時診療情報提供書)

様式 5

患者氏名: \_\_\_\_\_  
 性別: M F 年齢 歳 ( 年 月 日生 )  
 緊急連絡先: \_\_\_\_\_  
 家族氏名: \_\_\_\_\_ (続柄) \_\_\_\_\_ 連絡 済・未

最初の出発地: \_\_\_\_\_ 病院・センター  
 出発日時: \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

### 医療搬送を考慮すべき内因性病態例

集中治療管理が必要な病態、手術など侵襲的処置が必要な病態

<b>A</b>	気管挿管 人工呼吸	ARDS、重症肺炎	開胸、開腹術後
<b>B</b>	呼吸不全	肺塞栓 ACS	自然気胸 腸閉塞
<b>C</b>	ショック	Sepsis 急性中毒	進行悪性腫瘍 腹膜炎
<b>D</b>	カテコラミンや 機械によるサポート	急性脳梗塞、脳出血、SAH 脳炎、髄膜炎	大動脈解離

その他:

### 医療搬送を考慮すべき外傷病態

頭部・体幹・四肢外傷

<b>A</b>	気管挿管 人工呼吸	気道内出血	腹膜刺激症状
<b>B</b>	胸腔ドレナージ	大量気漏 大量血胸(500ml以上)	大動脈損傷 気管気管枝損傷 横隔膜損傷
<b>C</b>	FAST 骨盤X-P	心嚢液貯留 腹腔内液体貯留 骨盤骨折(不安定型) 安定型(ショック+)	多重長幹骨折 重症軟部組織損傷
<b>D</b>	GCS ≤ 13で 意識レベルの悪化傾向 瞳孔不同 片麻痺 頭蓋骨開放骨折	急性硬膜下血腫 脳挫傷が主体でない 急性硬膜下血腫 中硬膜動脈や静脈洞 を横切る骨折	頭部CTで脳損傷 GCS ≤ 13 出血素因を持つ頭部外傷 気管挿管を要する頭部外傷 頭蓋底骨折

クラッシュ症候群 輸液1L後  利尿無し  利尿あり  
 広範囲熱傷

傷病名	既往歴 アレルギー	所属 サイン
受傷機転	家族情報	

出発地・(時刻)	(搬送手段)	到着地・(時刻)
( 時 分 ) ⇒ ( ) ⇒		( 時 分 )
( 時 分 ) ⇒ ( ) ⇒		( 時 分 )
( 時 分 ) ⇒ ( ) ⇒		( 時 分 )
( 時 分 ) ⇒ ( ) ⇒		( 時 分 )

### 使用資機材

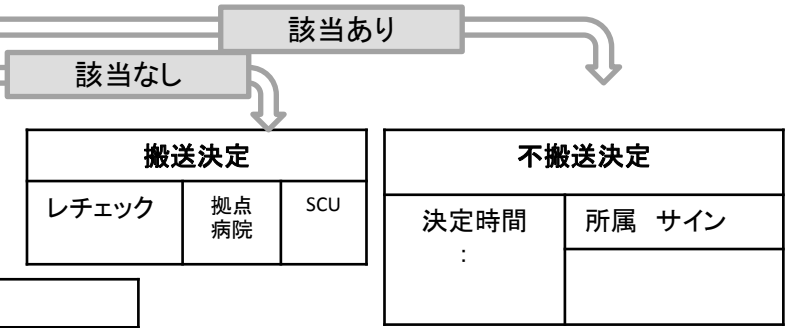
生体モニター	
人工呼吸器	
酸素	
輸液ポンプ	
シリンジポンプ	

## 広域医療搬送時には以下をチェック

### 広域医療不搬送基準

重症体幹四肢外傷  
 ① FiO2 1.0下の人工呼吸でSpO2 95%未満  
 ② 急速輸液1000ml後に、収縮期血圧60mmHg以下

頭部外傷  
 ① 意識がGCS ≤ 8またはJCS3桁で、かつ両側瞳孔散大  
 ② 頭部CT検査で中脳周囲脳槽が消失



### SCU時間経過

搬入時間 所属 サイン	:	:
搬出時間 所属 サイン	:	:

MATTS入力  ID



# 身体所見と処置

酸素投与 ( L マスク カヌラ )  
人工呼吸器 ( 換気条件: MV L, RR /分, FiO2 )

## 気道確保

気管挿管 ( mm cm )  
気管切開 ( mm )  
エアウェイ

胃管 ( Fr cm)

胸腔ドレーン ( Fr)

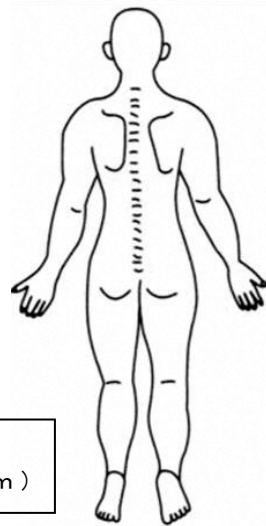
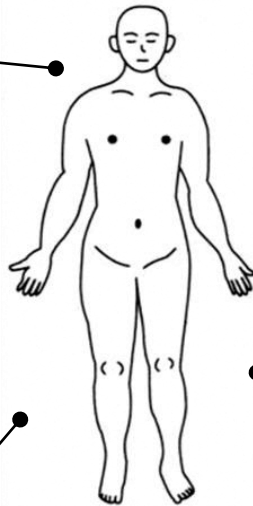
静脈路確保 ( G)

中心静脈路確保  
( S W T cm )

胸腔ドレーン ( Fr)

静脈路確保 ( G)

留置バルーン ( Fr cc)



時間・場所					
意識レベル					
瞳孔径(右/左)(mm)					
対光反射(右/左)					
呼吸回数(回/分)					
血圧(mmHg)					
脈拍数(回/分)					
SpO2(%)/条件					
体温(°C)					
点滴(投与量/積算量)					
尿量(投与量/積算量)					
所属・サイン					

